

会議概要

1	審議会	令和4年度 第3回 安曇野市総合計画審議会
2	日時	令和4年9月29日(木) 14時00分～16時10分
3	会場	議会全員協議会室
4	出席者(敬称略)	木村会長、二村副会長、赤羽(高)委員、赤羽(史)委員、上原委員、内田委員、岡江委員、尾臺委員、栗田委員、白鳥委員、高橋(良)委員、武井委員、千國委員、筒井委員、長崎委員、花岡委員、藤本委員、依田委員、若林委員、綿貫委員
5	説明者等	渡辺政策部長、黒岩政策経営課長、藤澤企画担当係長、柳澤企画担当主査
6	庶務担当課出席者	同上
7	公開・非公開の別	公開
8	記者	0人
9	会議概要作成年月日	令和4年9月30日(金)

協議事項等

1. 開会

2. 会長挨拶

- ・まだコロナの状況の先行きが見通せない状況である。世界情勢も日本社会も落ち着かなく、世の中の変わり目であると感じている。審議会としては安曇野市としての地域づくり、まちづくりの基本的な方向性をはっきりさせていきたい。

3. 会議事項 【発言者 ◎会長／・委員／⇒政策経営課】

(1) 序論及び基本構想について(資料1)

【説明】

(資料に沿って説明)

【質疑応答等】

◎序論のP2の3行目「第2次」の2が抜けている。最後の段落「夢や希望の実現に取り組んでいくため」という表現は、「よりよい地域づくりのため」のような表現のほうがよいのではないか。P17第3節基本目標3のなかに、「防災・減災」という文言を入れたほうがよい。

・基本目標6について、「人権尊重」という文言がはいっていたほうが、より市民が納得する。

・基本目標3「心おだやかに」は「安心して」でいいのでは。基本目標4「環境負荷の少ない」という表現がわかりにくい。環境負荷について具体的に示してほしい。また、SDGs関連で「持続可能」という文言が頻繁に使われており、今の世の中の時流にのった表現が多いが精査したほうがいい。

⇒使いどころを見極めて使用したい。

・一般の市民が理解できる具体的な説明をしたほうがいい。

⇒具体的な説明については基本施策で示したい。

・「文化芸術中核都市」とは、どのようなものか。

⇒価値創出プロジェクトの一つとして目指すものであり、文化・芸術活動の振興を図るもの。基本施策等でも関連した取組が複数あるので参照いただきたい。

・P5について、転入が多いのはわかるが、これを踏まえて今後の人口はどうなるのか。P

8「アフターコロナを見据えた取組も」ではなく、「取組が」が適当である。「性的少数者(LGBTQ)、障がい者、外国人」の並びは、外国人を障がい者の前に書いたほうがよい。P9「人的資本」という言葉が専門的でわかりにくい。P20第2節目標人口2行目「令和7(2020)」を2025へ訂正。目標人口の妥当性は関係者で共有したほうがよいので説明して頂きたい。P22 価値創出プロジェクトの必要性がわからない。わかりやすい説明がほしい。

⇒文言については修正したい。その他指摘事項については次回に説明したい。

・ P17の基本目標はP21の施策の体系図に具体的な説明があるので、基本目標は簡潔に記載したほうがよい。P3の【図表1】を見てもイメージがわからない。わかりやすい言葉にしてほしい。

⇒P3【図表1】について、誤字があるため訂正する。基本計画等の表現についてはわかりやすい表現にしたい。

・ 基本目標について、それぞれの文章に内容が盛り込まれすぎている。もっと簡潔に記載したほうがいいのではないか。わからないと意味がない。

(2) 基本施策及び指標について(資料2)

【説明】

(資料に沿って説明)

【質疑応答等】

・ P3について、基本施策の順番は、1-7～1-9は1-1の次にしたほうがよい。2-4 商工業と商業と工業が一緒になっているのは検討の必要がある。取組の方向の「1st.、2nd.、3rd.～」の表現は変えたほうがよい。

子育ては基本目標1の中でも重要性が高いため、掲載順を変更してはいいか。2-9は2-4の次に変更したほうがよい。

目標値が現状値より下がっている項目があるので、下げることが明確にしたほうがよい。また、数値の妥当性をしっかり見ておく必要がある。

⇒順番は市としてはどの施策も重要なので、並び順で重要性が変わることはない。

・ 現状のままだと全部読まないといけないと内容がわからない。SDGsのアイコンと一緒に関連する施策番号の一覧表を載せるのはどうか。そうすれば関心のある施策から読み始めることができる。

・ 「共生社会の実現」という文言が市民に自分事として捉えてもらうためには大事。

◎並び順が重要度を示すわけではないことを委員のみなさんに承知して頂いた上で議論してほしい。

・ すべての人にとって共通することから章立てていくことがひとつの方法なのでは。市民から質問された時に説明できることが必要である。

⇒意見も考慮した上で検討したい。

◎1st.、2nd.、3rd.～の表記は検討していただきたい。

⇒見直したい。

・ 後日メールで意見をする場合の締切はあるか。

⇒10月7日金曜日までに頂きたい。

・ 指標に保育者一人に対する子どもの人数や保育者の処遇改善を入れたほうがよい。また

子ども基本法が4月から始まるのに関連して条例を制定すると盛り込んだほうが、市民により子育てに対する熱意が伝わりやすいのではないかと。

⇒担当課にも話して達成度が示される指標にしたい。

・ 前回の内容から様変わりしており、前回の審議会で議論したことが反映されているかどうかかわからない。変更点をわかるようにしてほしい。

⇒次回は変更部分を赤字で記載したい。

・ 2-4「各種規制への緩和措置」について市民にとって本当に緩和措置が必要なのか考えて頂きたい。

4-3「自動車の使用を削減する取組み」は実現可能か、また実現性のない内容を掲載するのは妥当か。

4-4「産業振興」について、自然との調和に関する文言が必要ではないか。

4-5について、景観条例の改正も含めてもう少し踏み込んだ内容のほうがよい。

5-1について、学習指導要領が変わるなかで学力テストなどの数値のみでの評価をするのはいかがなものか。それから指標は本当に必要なのか議論する必要がある。

⇒各担当課と話して検討したい。

・ 指標・目標値をすべての施策に設定する必要があるのか。数値化に適するものと適さないものがあるので区別したほうがよいのではないかと。

・ 数値化は客観性という点で非常に大事。数値化をしないと説明ができない。達成できる数値を設定すると妥当性がうまれる。他市の数値を比較してみるのもよいのではないかと。

◎数値については、根拠がなく出した数字はないはず。説明を求められたときに説明できることが条件。

・ 指標とした理由が示されていればよい。他に問題があるのに、指標にある項目だけ達成すればいいという考えではよくない。何の目的のために指標があるのか共通認識があったほうがよいのではないかと。

⇒ご指摘を踏まえて整理したい。

(3) 価値創出プロジェクトの推進と進捗管理について (資料3)

【説明】

(資料に沿って説明)

【質疑応答】

・ 内容がわかりにくい。市民が理解できるかどうか疑問である。

・ チャレンジ目標というのは、各施策とつながっているのか。つながっているのであれば、なぜ特出するのか説明があればいいのではないかと。チャレンジ目標に対する評価があるのであれば、二重評価になってしまうので、システムとして運用できるか心配。

・ 発信の仕方について、動画を使用するなど、色々な角度から変えていくのはどうか。

⇒検討したい。

・ 価値創出プロジェクトを新規事業として考えれば理解できる。説明は必要。

⇒目玉事業を新規事業として捉えることもできる。説明の仕方は検討したい。

◎前期計画では重点施策となっている。価値創出プロジェクトと変わっているのでわかりにくくなっている。この言葉を使わないといけないのか。

⇒庁内で重点という言葉が多用されているので差別化を図るためとインパクトを持たせた

い。

◎前期計画と変わること異論はないが、説明したものを次回出してほしい。

・ネーミングは庁内で納得できるものだったのか。新たな名前を作ったときに、それが受け入れられるかどうかは大事。

⇒整理して、あらためて説明したい。

・今回審議している総合計画が一番トップにあり、この下に各課・部が計画を実行していくという認識でよいか。

⇒総合計画が上位計画なので、他の部がこれに沿うというのに変わりはない。

・市民に直接関係している、今現在困っていることを表に出して作りこんでいったほうがいい。

⇒総合計画は市の一番の計画になる。具体的な事業については、下位計画に委ねることになっているので、総合計画では大まかな方針を決めて頂きたい。

・資料2の関連データの欄に、関連する計画などが載っているとよいのではないか。

⇒検討したい。

(4) グループヒアリング等の経過報告について(資料4-1、4-2)

【説明】

(資料に沿って説明)

【質疑応答】

・明科北認定こども園の保護者へのヒアリングについて、特化型と普及型の内訳がわかるようにしたほうがよい。

⇒普及型が3名、特化型が4名。

・高校生のアンケート回答者数は最終的には何名だったのか。ワークショップは何名か。

⇒アンケート回答者数は58名。ワークショップは2名の予定。

(4) その他

⇒次回第4回審議会は11月10日(木)14時からの予定。

4. 閉会